

大島商船高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	交通システム工学	
科目基礎情報							
科目番号	0026			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	海洋交通システム学専攻			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	海上交通工学のテキストの多くが絶版であり、手に入りにくいことから、自作プリントを配布する						
担当教員							
到達目標							
社会的経済活動を支える交通システムについて、それを構成する交通手段の社会的役割を理解し、人及び物の交通行動に関する基礎を理解する。さらに、海上交通システムの基礎となる交通・輸送機能などの現状および可能性を、社会的経済活動に有用なものとして活用する方法論を学ぶ。これらの内容について、下記の大きな3項目を到達目標として定める。							
到達目標							
(1)交通システム全体を理解し、詳細に説明できる。							
(2)海上交通システムを理解し、詳細に説明できる。							
(3)海上交通システムについて、各種資料を用いて的確に論じることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	交通システム全体を理解し、詳細に説明できる			交通システム全体を理解し、基本を説明できる		交通システム全体を理解し、基本を説明できない	
評価項目2	海上交通システムを理解し、詳細に説明できる			海上交通システムを理解し、基本を説明できる		海上交通システムを理解し、基本を説明できない	
評価項目3	海上交通システムについて、各種資料を用いて的確に論じることができる			海上交通システムについて、各種資料を用いて論じることができる		海上交通システムについて、各種資料を用いて論じることができない	
学科の到達目標項目との関係							
本校 (1)-c 専攻科 (5)-a							
教育方法等							
概要	交通システムとそれを構成する交通手段の社会的役割について学ぶとともに、特に海上交通システムの特徴、役割を学ぶ。						
授業の進め方・方法	交通システムの基礎的な内容とその現状について実例を通して講義形式で学ぶ。なお、海上交通工学の教科書の多くは絶版となっており、入手が困難であることから適宜、自作教材を配布する。						
注意点	交通システムの諸問題に対する研究レポートの作成を必須とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	交通とは		交通について理解できる		
		2週	交通機関		交通機関について理解できる		
		3週	交通の歴史		交通の歴史について理解できる		
		4週	交通システム（道路交通・鉄道交通・航空交通）		各交通システムについて理解できる		
		5週	海上交通システム		海上交通システムの概要について理解できる		
		6週	海上交通における旅客輸送①		海上交通における旅客輸送について理解できる		
		7週	海上交通における旅客輸送②		海上交通における旅客輸送について理解できる		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	フェリー航路と離島航路の維持		フェリー航路と離島航路の維持について理解できる		
		10週	クルーズ船		クルーズ船について説明できる		
		11週	海上交通における貨物輸送①		海上交通における貨物輸送について理解できる		
		12週	海上交通における貨物輸送②		海上交通における貨物輸送について理解できる		
		13週	海上交通調査		海上交通の調査方法について理解できる		
		14週	海上交通計画		海上交通計画についてその概要について理解できる		
		15週	総括		交通システム工学を通して学んだ内容について理解できる		
		16週	期末試験				
評価割合							
		試験	レポート		合計		
総合評価割合		50	50		100		
基礎的能力		0	0		0		
専門的能力		50	50		100		
分野横断的能力		0	0		0		